

平成25年度 単位PTA 講演会一覧表

	テーマ	講師	単P	講演内容
メディア・ケータイ・インターネット	子どもとメディアのつきあい方	鳥取県ケータイ・インターネット教育推進委員 今度 珠美	賀露小・逢坂小・福部小・湖山小・日進小・八東小・車尾小・明治小・国府東小・湖山西小・富桑小智頭小・根雨小	子どもたちの周りにあふれる通信機器。通信機器を通して、誰とつながり、何をしているのか、親が主体的に知る事、コミュニケーションをとること、約束をまもることが大切である
	ゲーム依存はなぜ怖いのか ネット・スマホで子どもが壊れる前に		保護者を対象にネット・スマホ・ゲームに無制限に接触させることの脅威についての講演	
	ゲームやケータイと親子のかかわりについて		・ネットいじめの特性やその対策 ・LINEのリスクとブロックの仕方 ・ネット上の人権侵害の対応 ・ノーゲームデーを作ろう	
	ケータイ・インターネット講習	鳥取県ケータイ・インターネット教育推進委員 竺原 晶子	日南中	・ネットによる人権侵害から子どもを守る ・ネット・ゲームによる功罪
	今からなら間に合うメディアとの関わり方		大正小	ネット社会を賢く生きるために…個人情報を守る・情報をうのみにしない・責任ある情報発信する 脳の発達とゲームの関係・ゲームやネットに対して、子どもが自己管理できるまでは親の管理。等
	PTAノーメディア研修会	中井 浩 竺原 晶子	湖南学園	携帯・スマホ・インターネット・ゲーム等のメディアの向き合い方。有効に活用していくことの大切さの研修
	ケータイ安全教室 子どもたちを取り巻くケータイ事情を理解し、家庭でできるトラブル対策	鳥取県ケータイ・インターネット教育推進委員 中井 浩	江府中 隼小	PCやスマホ、携帯電話等の普及によって生じている問題点や、親や周りの大人がしておかなければならない注意点など
	知らなかったでは危険すぎる！ ケータイ・ネット・ゲームの現状		福米中	事例の紹介ビデオを見た後、現状を説明 グループ討議し、各グループで中井氏に対して質問・回答していただいた
	ケータイ・インターネットと人権	南部町教育委員会事務局総務 ・学校教育課長 福田 範史	若桜学園	携帯電話で実際どのようなことが可能かを実例を示しながら、便利さの一方で、人間関係のもつれや犯罪などエスカレートする危険性について
	ネット社会の光と影		境第二中	・ネット社会の現状 ・スマホのリスク ネット依存 ・ゲーム依存
	携帯・スマートホンに関わる犯罪や事件と小学生	県警察本部サイバー犯罪専門講師 平木孝史、生活安全係巡查山本英里	丹比小	スマホはパソコンと同じであるという認識をもつ事。怪しいアプリを使用しない。フィルタリングで防げない危険もある。LINEは、出会い系サイト化している。保護者の危機意識が今、望まれる
	子どもを取り巻くソーシャルネット事情と大人の役割	田中 靖浩	社小	・機器や環境の変化 ・ネットトラブル ・SNS、LINEの実態・危険性 ・保護者の役割(機器の渡し方・ペアレンタルコントロール)について
	進化するメディアとのつきあい方	家庭・地域支援課 大羽 省吾	高城小	ケータイ・スマホなど携帯端末機器の落とし穴について、親が知ること。家庭でのルール作りの大切さ
	子どもをネット社会の被害者にも加害者にもしないために	NPO法人 イー・エルダー 石橋 克巳	岩美小中連	判断能力の不十分な子どもをネットの被害者・加害者としなないための提案を行う
情報モラル教室(講演会)	警察官	加茂中	鳥取県警サイバー犯罪対策室より講師を招き、家庭内でのルールやフィルタリングの重要性	

子育て・生活習慣

受け止めて、分かって、育てよう	車尾小 京久野 美枝 生田 祥子	車尾小	子ども一人ひとりの個性を私たち大人が理解し、得意なところも苦手なところも前向きにとらえて伸ばしていくにはどうしたらいいか。保護者として子どもたちへの接し方などのお話し
子育て 親育ち ～発達の視点から～	鳥取県福祉保健部子育て王国推進局 子ども発達支援課 中西 毅暢	安部小	乳幼児期から児童期までの子どもの心の発達 具体的な事例を示しながらの講演
小学生から中学生へ ～子どもの姿と親との関わり方～	郡家西小校長 福田 浩則	安部小	子どもの自立に向かって小学校段階から親としてどのように子どもに接していったらよいか、又、統合に向かって多人数の中で自分らしさを出せる子どもに育てるために大事にしたいこと
めんどくさい子育てを楽しくしよう ～子どもとともに育つ私たち～	鳥取子ども学園 希望館館長 西井 啓二	美和小	
うそをつかない「けいこ」	城北高等学校 副校長 石浦外喜義	城北小	自己肯定感を高め、学びあい、教えあう人間関係づくり
自尊感情を大切に 子どものほめ方・叱り方	鳥取県人権文化センター 尾崎 真理子	宮ノ下小	ご自身のキャリアを通して、子どもとの関わり方について事例を通しての話し 特に「叱る」ということの意味、ご自身の失敗談も交えての講演
子どもに学ぶ	谷本 和賀雄	日野中	「子どもが望んでいる親」 「学力と人権」
子育ての楽しさ・おもしろさ	栗木 剛	岩美南小	子育てにおける親と子の関わり方について
子どもへのかかわり方	鳥取県人権文化センター 太田 和宏	中ノ郷小	親が子どもの頃を振り返って、親にいわれた一言でいやだったことをペアで話し、それを言われた子どもの気持ちや親の気持ちなどをペアで話し合う。「子どもが育つ魔法の言葉」の紹介など
子どもが育つすてきな言葉	とっとり子育て親育ちプログラム 竹本 万寿子	瑞穂小	「家庭学習を一生懸命頑張ったが結果が出ない」「お手伝いを約束したのに2、3日さぼっている」時の子どもへの望ましい声かけについて考え、たくさんの言葉かけをみつける話し合い
子どものサインを受けとめるために	鳥取大学大学院医学系臨床心理学 専攻教授 菊池 義人	境第一中	・子どもの心の発達のあり方 ・子どもの発達の「でこぼこ」現象 ・じょうずな子育てに向けて
「聴こう 子どもの声」	家庭教育アドバイザー 石浦 公子	丹比小	親にはなつたけど、考えてみれば…自分(親)の思い込みや決めつけで子どもをみていませんか？ 能動的な聴き方とは、コミュニケーションには思いやりが大切などの講演
眠りの脳科学 早ね早おき あさごはんで元気モリモリ やる気グングン 笑顔ニコニコ	川崎医療福祉大学 保野 孝弘	明德小	・眠りが脳をつくる ・セロトニンとメラトニンの関係 ・夜更かしは悪いことばかり…1日24時間の生活時計に合わせる ・有名人も生活習慣を大切にしているなど
早寝・早起き・朝ごはんでつくる生活リズム	教育委員会東部教育局 社会教育主事 寺谷 孝志	稲葉山小	生活リズムの大切さ ワークショップ:家でこまっていること。工夫していること
生活リズムが子どもを変える	山口県山陽小野田市教育委員会 教育長 江澤 正思	城北小	・生活習慣を改善する上で大切なことは？ ・生活習慣の改善は学力に効果があるの？ ・学力から見た生活習慣ランキング等
子どもとともに子育て親育ち	家庭地域教育アドバイザー 山田 節子	青谷小	子どもが反抗したときどのように関わったらよいか？いじめに対して子どもとどのように話していけばよいか？家庭学習での親の関わりは？子どもが健やかに育つために、家庭での子どもとの関わり方を「子育て・親育ち」のヒントにしてください
子どもとともに本の世界		智頭小	ご自身のこれまでの本との関わりの中で学んでこられたこと。家庭教育の中での読書活動や読み聞かせの本の役割や重要性 ・子育ての上での様々な体験
子どもの元気は親の健康から	鳥取大学社会医学講座 病体運動学 准教授医学博士 加藤 敏明	上灘小	・子どもの健康や体力について ・お父さん、お母さんの健康管理 簡単にできるエクササイズの実技指導
3力(みりよく)アップな食育をめざして	教育委員会スポーツ健康教育課 鈴木 貞子	湖南学園	家庭や親子の「食」を通じたコミュニケーションは、子どもの健全な成長に不可欠である 数々の経験や最新の食に関する情報を聞きながら、食を通してよりよい親子関係をつくるヒントの講演

	知るともっと食べたくなる 野菜と果物	野菜ソムリエ 長島 明子	加茂中	子育て(食育)講演会 嫌いな野菜を美味しく食べる食べ方 ・野菜に関するクイズなど
	船上山少年自然の家の魅力 ～子どもをひきつける魅力とは～	船上山少年自然の家 係長 指導係担当 岩成 智彦	岩倉小	効率を考えることの多い現代。あえて失敗や迷いを子どもたちに経験させるというやり方は、忙しさに追われている大人にとって考えさせられた。テレビもゲームもない環境で自然に夢中になることの大切さを実感した
	子どものやる気と能力を引き出す 教育コーチング	東郷小学校校長 山本 光文	東郷小	子どものよりよく生きようとする意欲や能力は、それぞれが持っていると考え、その能力は私たち保護者や教育者の接し方や関わり方によって大きく変わることを学んだ 校長先生の温かみのある話しに涙される保護者もありアットホームな講演だった
人権・心の教育	改めて人権を考える 差別は誰の問題か	環境大学教授 外川 正明	智頭小	自分には権利がある→その権利は自分自身が守らなければならない 他者の権利は絶対奪ってはならない=強者に自覚的であること 人権を踏みこじられたときは→NO(いや)GO(逃げる)TELL(誰かに相談する)
	笑って考えよう、身近な人権 ～私の出会った子どもたち～	社会人落語家 切磋亭 琢磨	郡家東小	二部構成・・・一部は楽しい落語 二部は教員時代に児童を亡くされた体験談 一人一人がかけがえのない存在。自分自身や周りの人をたいせつにできる子どもに。
	豊かな学びを人権同和教育で ～自尊感情を育てるために～	鳥取県人権文化センター 専任研究員 中尾 和則	社小	今なお、部落差別があることや部落差別問題をはじめ、あらゆる差別をなくす取り組みを通して私たちの暮らしや一人一人の生き方を振り返ることが重要であることや、私たち自身のものの見方や判断基準を考え直していくことの重要性などの話し
	子どもの人権 家庭での取り組み方	NPO法人 十人十色 理事長 岸本 美鈴	大江小	「十人十色」の活動から誰もが安心して暮らせる社会をめざして ・人は必ず変容できる。輝いて生活することのできる社会の実現のために
	プラス思考の人権教育 ～人権感覚をみがきませんか	徳島県同和地区青少年団体 大湾 昇	明倫小	ご自身の経験を元にユーモアを交えて、わかりやすく人権について講演
	子どもの自尊感情を育む親子 のコミュニケーション	県人権文化センター 太田 和宏	船岡小	子どもの頃に言われていやだった言葉や、その時の子どもや親の気持ちを話し合う ・自尊感情についてのワークショップ形式の講演会
	自分も相手も大切に コミュニケーション	オフィスSRC 横山 由紀子	岩美西小	考えの違う人とうまくやっていくコミュニケーション方法
	コミュニケーション能力がこれからは 必要と言われるが、それは何だ？	鳥の劇場芸術監督・演出家 中島 諒人	醇風小	ゲームを通して・・・言葉を使わないで話しをしないで一つのものをつくる。喋らないということは、誰か権威を持っている人の指示を待つのではなく意図を読みながら誰かがやったことを受け入れて発展させるという楽しい活動になることを実感することができる
	自尊感情を高めるために	東部教育局学校教育相談員 今西 聡子	大江小	スクールカウンセラーの経験から ・自尊感情とは。 ・ワークショップ
	人間関係を何倍もよくする 「聴く力」を極める	鳥取大学医学部准教授 高塚 人志	郡家西小	・一方通行による「体験学習」体験にトライ ・コミュニケーションとは？ ・田舎にあたたかい関心を持つこと ・「あいさつ」言葉はなぜ大切なのかな？ ・相手の気持ちを聴く(気づきの体験学習)
	すてきなあなたになるために ～さまざまな人とコミュニケーションをとるために～		修立小	学校現場や医療・看護、介護、子育てなどの様子をもとに、人間関係やコミュニケーション力をつけることの大切さの講義。相手の気持ちを考えながら話す体験。
	盲導犬と暮らし始めて	鳥取ハーネスの会代表 野澤 実	河原第一小	ご自身が盲導犬と暮らしているなかでの発見。実際、盲導犬を連れてきて講演
	心の笑顔 ～心から笑顔になっていますか～	日野町 曹洞宗龍泉寺 住職 三島 道秀	若桜学園 河原第一小 大正・末恒小	家庭の役割、親子関係を築くヒント、思春期の子どもの理解と親の関わり等、子どもたちの健やかな育成のための「心のありかた・豊かな心の育み」について
『10秒の愛』心の優しさの貯金 ～幸せはきっとあとからやってくる～	琴浦町10秒の愛実行委員会 井上 洋子	郡家西小	人権・同和教育からの学び ・「10秒の愛」ってなあに？ ・息の長い取り組みをめざして ・大人は子どもの未来の応援団	
十秒の愛で子どもを幸せに	ファシリテーター 田中 京子 東部教育局 寺谷 孝史	遷喬小	日頃の子どもの接し方を振り返りながら、こどもにもっと愛が伝わる方法を考える ・アイスブレイク・ルールとマナーの確認・ワークシート・グループで話し合いなど参加型での講演	

	「世界がもし100人の村だったら」	鴨川中学校 小松 亜希恵	高城小	世界では、ごく一部の国や人種、民族の人達だけが経済的、健康的に恵まれた生活をしている。恵まれた生活が多くの犠牲の上で成り立っていることをワークショップ形式での講演
	一人ひとりが大切にされる社会を目指し	社会福祉法人 まつぼっくり事業所代表 足立 博文	境第三中	まつぼっくり事業所の紹介 ・障がい者の自立支援について ・障がい者の理解を深めるための取り組みや想い
	夢に向かって	フリープロレスラー 藤原 卓也	郡家東小	・地元でプロレス道場をつくり、地域交流・健康維持の場として広めるという自身の「夢」について ・子どもの夢を応援する親としての子育てのあり方
	空手道と私	県教育委員会スポーツ健康教育課 特任スポーツ指導員 宇佐美 里香	湖山小	空手世界選手権でチャンピオンになった経験から得たことを、自身の成長の過程を交えて話されたその後、演武も披露され、子どもたちは、自分の将来を考え今をどう過ごすかということ、保護者は我が子との信頼関係の中でみえてくる将来について考えるよう機会となった
	鳥取掃除に学ぶ会イン東郷	鳥取掃除に学ぶ会(株)ウチダレック 代表 内田 良一	東郷小	トイレ掃除を実践の第一歩と考え、「凡事徹底」「気づき」の心を学び自分自身の心を磨く活動として校舎・体育館・プールのトイレ掃除を実施。参加者は最初は誰もが少し抵抗があったようだが、長時間かけてトイレを掃除したり水漉しを磨いたりするうちにだんだん熱中しトイレとの距離も近くなり、心を磨くとはこういうことか！と実感していた
	ぬくもりを感じて	仲倉 茂樹	箕蚊屋中	
	社会の中で生き生きと	村田 静也		
発達障がい・心・体のこと	いのちからだの話 性感染症の話	ミオ・ファティリティ・クリニック看護師 ・思春期保健相談士 葉山 美紀子	箕蚊屋中	
	大人の知らない思春期のお話		車尾小	中学・高校と思春期に向かって行く子ども達、その子どもたちの成長とともに変化していく心と体。親として理解しどう向き合うべきか。普段聞きたくても聞けない疑問・悩みなど
	発達段階に合わせた子どもとの関わり方	臨床心理士・スクールカウンセラー・ 県家庭教育アドバイザー 小林 幹子	湖山小 倉田小	「いのち」に関わる学習。子どもたちの成長に合わせた親の受けとめ方・関わり方を具体的な事例を交えて講演・子どもたち一人一人の心の居場所をつくることの必要性
	我が子を振り返ってみよう ～個の発達に応じた支援のありかた	「エール」県発達障がい者支援センター 所長 三矢 裕子	郡家東小	子どもの発達はいっしょに違ひ、表面に表れる行動だけを見るのではなく、見えない部分(認知のゆがみ、コミュニケーションの力、家庭の問題等)を見るように心がけて支援していく必要があること等
	聴覚障がいの理解と手話講座	元聾学校校長 石破 君代	隼小	聴覚に障がいがあるとはどのようなことで、どのように接していけばよいか、どのように気持ちよく接していけるかなど、相手の気持ちに寄り添うことの大切さを実感できるお話です
	発達障がいを知ろう・学ぼう ～保護者の視点から～	NPO法人全国LD親の会 らっきょうの花会長 齋藤 里依	浜村小	発達障がいについて、その種類や定義、本人や家族の思いをご自身のお子さんの様子や今までの子育ての体験などを交えて分かりやすく講演
	なりたい自分をめざすとき ～支え合う仲間があればこそ～	木村 絹子	成美小	
	いじめ(思いやりを持とう)	竹内 昌彦	住吉小	いじめ対策
	いじめ問題について ～家庭と学校とのかかわり方～	いじめ・不登校総合対策センター 指導主事 知久馬 和紀	賀露小	
	いじめる子の心理 いじめられる子の心	鳥取大学地域学部 教授 小林 勝年	宮ノ下小	
	今、家庭で出来ること ～少年非行の現場から～	米子警察署少年補導員係長 種原 由樹子	彦名小	何か問題が起こった時はまず相手の立場に立って考えること、思いをはせること
	薬物依存症について ～ダルクからのメッセージ～	特定非営利活動法人 鳥取ダルク	岩美中	薬物依存とは ・薬物依存症を体験して ・依存症克服に向けてのプログラム

	人間を救うのは人間だ	鳥取赤十字病院 山代 豊	美和小	東日本大震災の被災地での救護活動
	「命の授業」	ファミリーズ(岡山県犯罪被害者の会) 市原千代子	日南小	自身の息子さんが、遊び仲間とのトラブルに巻き込まれ殺害された事例をもとに講演された。息子さんへの愛情あふれるエピソードを交えながら、ある日突然息子を失ってしまうと言う信じられない悲しい出来事を体験し、命は自分だけのものではなく、それを巻き巻く多くの人に元気や勇気を与えていることを訴えられた。命の大切さ、一度失ったものは二度と帰ってこない命の重さを考えさせられた